

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「東京海上日動 条件付運用型ファンド11-02」は、
このたび、第5期の決算を行いました。

当ファンドは、主として、高格付（取得時においてAA
格相当以上を基本とします。）のユーロ円建て債券に投資
し、安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告
申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し
上げます。

第5期末(2016年2月15日)

基準価額	10,290円
純資産総額	529百万円
第5期	
騰落率	1.8%
分配金(税引前)合計	113円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計
算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資さ
れませんのでご注意ください。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項の
うち重要なものを記載した書面です。その他の内容に
ついては、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全
体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提
供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、
岡三アセットマネジメントのホームページにて閲
覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求
により交付されます。交付をご請求される方は、販
売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページの「ファンド一覧」等から当ファンドの
ファンド名称を選択することにより、「ファンド詳細」
ページにおいて運用報告書(全体版)を閲覧およびダ
ウンロードすることができます。

東京海上日動 条件付運用型ファンド11-02

単位型投信／国内／債券／特殊型(条件付運用型)

作成対象期間：2015年2月17日～2016年2月15日

交付運用報告書

第5期(決算日2016年2月15日)

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ
フリーダイヤル ☎0120-048-214 (営業日の9:00～17:00)

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

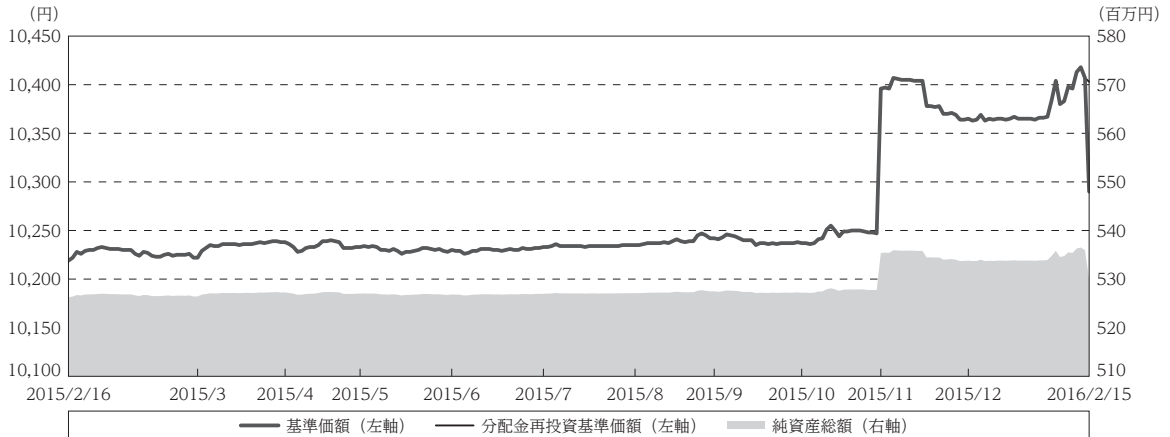
※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



運用経過

期中の基準価額等の推移

(2015年2月17日～2016年2月15日)



期 首：10,219円

期 末：10,290円 (既払分配金(税引前):113円)

騰落率： 1.8% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2015年2月16日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・当ファンドが組み入れているユーロ円建て債券の発行体であるバークレイズ・バンク・ピーエルシーの信用スプレッド(国債に対する利回り格差)は拡大しましたが、債券保有期間に応じた収益が着実に積み上がったことが、プラスに寄与しました。
- ・国内金利が低下したことが、プラスに寄与しました。

(主なマイナス要因)

- ・特にありません。

当ファンドの設定に伴い、決定した事項等は以下の通りです。

当初株価	10,788.34円 ※2011年2月18日、2011年2月21日、2011年2月22日における日経平均株価終値の平均値 (小数点以下第3位切捨て)			
分配額判定株価	9,709.50円 ※当初株価の90%の水準(小数点以下第3位切捨て)			
ファンドの信託報酬率	信託財産の元本総額に対して年率0.3456%(税抜0.32%) うち委託会社 年率0.2700%(税抜0.25%) うち販売会社 年率0.0432%(税抜0.04%) うち受託会社 年率0.0324%(税抜0.03%) ※当期末における消費税率は8%です。			
目標分配額 (1万口当たり、税引前)	高位の目標分配額	低位の目標分配額		
	各期 113円	各期 98円		
	※目標分配額は、組入れたユーロ円建て債券の発行体が債務不履行や財務状況の悪化等に陥らず、当初予想通りの運用成果が得られた場合のものであります。したがって、分配額を保証するものではありません。また分配方針に基づいて、収益分配を行う予定ですが、収益分配金の支払いを保証するものではありません。			
ユーロ円建て債券の発行体	パークレイズ・バンク・ピーエルシー ※債券の銘柄入替えを行う場合があります。	発行体格付	設定日	当期末
		スタンダード・アンド・プアーズ	AA-	A-
		ムーディーズ	Aa 3	A 2

※ムーディーズ、スタンダード・アンド・プアーズとも金融商品取引法に基づいた信用格付業者の登録を受けておりません。

※ユーロ円建て債券の発行体の破綻や財務状況の悪化、および発行体の財務状況に関する外部評価の変化等の影響により、ユーロ円建て債券の価格が大きく下落することや、投資資金が回収不能となる場合があります。このような場合には、ファンドの基準価額が大幅に下落し、大きな損失を被ることになります。

1万口当たりの費用明細

(2015年2月17日～2016年2月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	34	0.336	(a) 信託報酬＝計算口当たり計理上元本×信託報酬率
(投 信 会 社)	(27)	(0.262)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(4)	(0.042)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.031)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.010	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.010)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	35	0.346	
期中の平均基準価額は、10,269円です。			

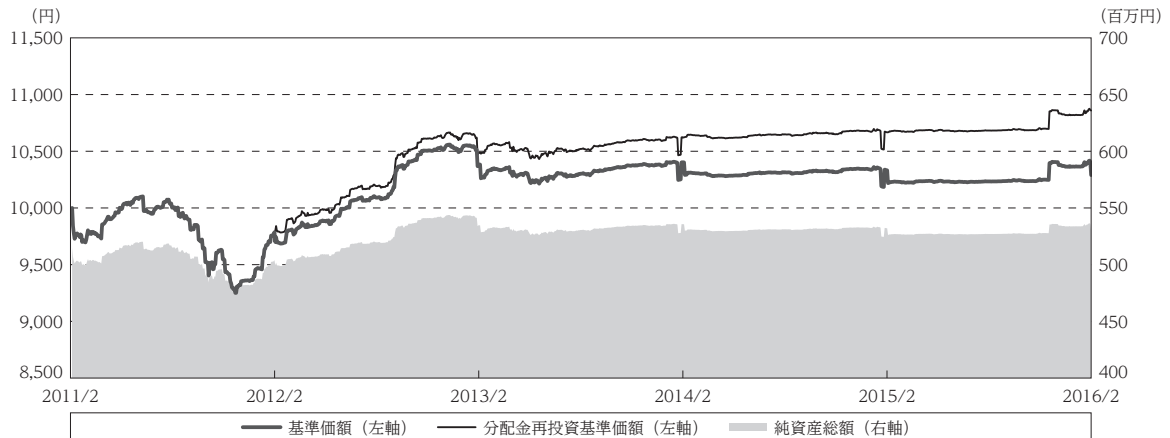
(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2011年2月15日～2016年2月15日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

(注) 当ファンドの設定日は2011年2月18日です。

	2011年2月18日 設定日	2012年2月15日 決算日	2013年2月15日 決算日	2014年2月17日 決算日	2015年2月16日 決算日	2016年2月15日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,700	10,261	10,291	10,219	10,290
期間分配金合計(税引前) (円)	—	98	113	113	113	113
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 2.0	6.9	1.4	0.4	1.8
日経平均株価(225種)騰落率 (%)	—	△ 14.5	20.7	28.8	25.1	△ 11.0
純資産総額 (百万円)	515	499	528	529	526	529

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2012年2月15日の騰落率は設定当初との比較です。

(注) 日経平均株価(225種)は当ファンドの参考指数です。設定日の参考指数は設定日前営業日の終値を採用しています。なお、参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

投資環境

(2015年2月17日～2016年2月15日)

(債券市場)

欧州中央銀行（ECB）による国債買入れの影響を受け、2015年4月にかけて長期債利回りは低下しました。その後、日銀の追加緩和期待の後退や原油価格の反発、欧州デフレ懸念後退を背景に長期債利回りは上昇しました。しかし7月以降は、ギリシャ債務問題や、中国景気減速に対する懸念が高まり、世界的に株価が下落したことに加え、国内景気の先行き不透明感から、長期債利回りは低下しました。その後、日銀の金融緩和政策の継続により中長期的な国債需給の引締まりが意識されるなか、12月中旬に、日銀が「量的・質的金融緩和」を補完するための諸措置を決定したことから長期債利回りは低下基調を辿りました。2016年入り後は、中国経済の先行き不透明感や原油安を受けた世界的なインフレ期待の低下に加え、1月末には日銀がマイナス金利の導入を決定したことから、長期債利回りは一時-0.035%と過去最低水準まで低下しました。

(株式市場)

ECBによる国債買入れを受け欧米株が上昇したことや、円安の進行、企業業績の回復を背景に2015年8月上旬にかけて、株価は上昇傾向となりました。その後、中国景気減速懸念や世界的な株安の影響から、株価は下落しました。10月以降は、ECBの追加金融緩和期待や、中国経済への懸念が和らいだことから、株価は戻りを試す展開となりました。12月から期末にかけては、原油安や中東情勢の緊迫化、世界経済の減速懸念を背景とした世界的な株安・円高の進行を背景に、株価は大幅に下落しました。

(クレジット市場)

バークレイズ・バンク・ピーエルシーの信用スプレッドは、ギリシャ債務協議が難航するなか、欧州の国債利回りが上昇し、市場のセンチメントが悪化したことから、2015年7月上旬にかけて拡大基調を辿りました。その後、ギリシャ債務問題が進展したことを受け、信用スプレッドが縮小する場面もありましたが、中国経済の減速懸念や米国の利上げ観測の高まりから、再度拡大しました。しかし10月以降は、中国の景気対策を好感し、世界的に株価が反発したことや、ECBによる追加金融緩和期待を背景に信用スプレッドは縮小傾向を辿りました。2016年入り後は中国株安・人民元安や原油価格の下落から、世界的に金融市場が混乱し株価が大きく下げる中、原油安に伴う不良債権発生リスクが意識され、欧州金融機関に対する懸念が高まり、信用スプレッドは再度拡大しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2015年2月17日～2016年2月15日)

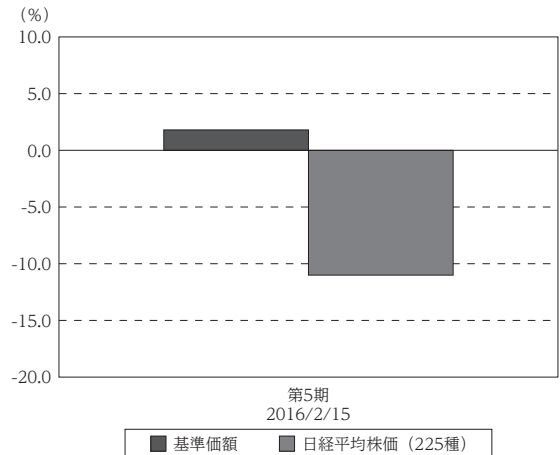
当ファンドの運用につきましては、投資方針に従い、設定日（2011年2月18日）に買い付けた、日経平均株価（225種）の水準に応じて利金額が決定される仕組みを持つバークレイズ・バンク・ピーエルシー発行のユーロ円建て債券を高位に保ちました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2015年2月17日～2016年2月15日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、日経平均株価（225種）です。

分配金

(2015年2月17日～2016年2月15日)

当期の収益分配金は、分配額判定日（2016年2月1日）の日経平均株価の終値が17,865.23円となり、分配額判定株価である9,709.50円を上回っていたため、高位の目標分配額である1万口当たり113円（税引前）とさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、ファンドの運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

今後の運用方針

今後も運用の基本方針に基づき、ユーロ円建て債券の組入比率を高位に維持いたします。

お知らせ

弊社は、資産運用・リスク管理態勢の高度化等への取り組みを一段と強化すべく、2015年4月1日付けで運用部門に関し以下の組織変更を行いました。

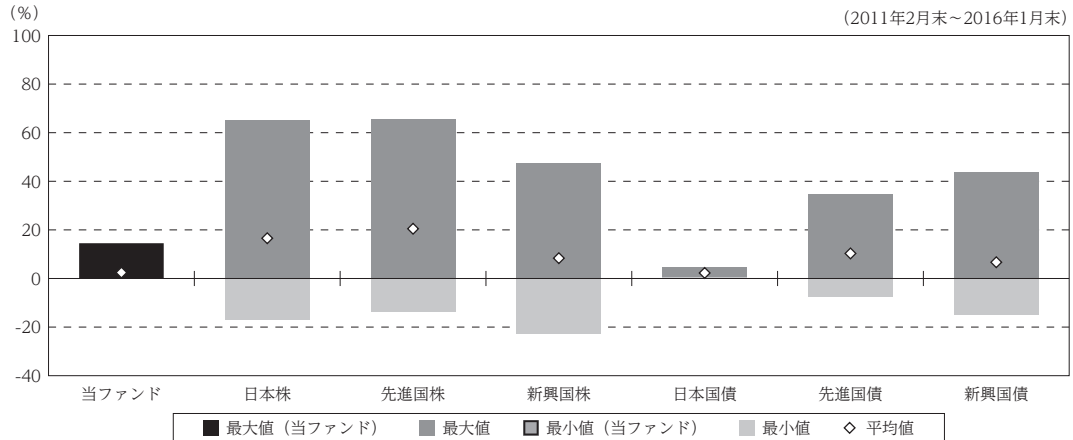
- ①運用企画部の新設
- ②投資調査部を投資情報部に改称
- ③運用各部を投資対象資産別に再編
- ④トレーディング部を運用本部から分離

当ファンドの概要

商品分類	単位型投信／国内／債券／特殊型（条件付運用型）
信託期間	2011年2月18日から2018年2月15日までです。
運用方針	主として、高格付（取得時においてAA格相当以上を基本とします。）のユーロ円建て債券に投資し、償還価額が投資元本に最終計算期間の分配相当額を加算した価額となることを目標とします。
主要投資対象	高格付（取得時においてAA格相当以上を基本とします。）のユーロ円建て債券を主要投資対象とします。
運用方法	投資対象とするユーロ円建て債券は日経平均株価の水準に応じて利金額が決定される仕組みとなっております。
分配方針	毎年2月15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、元本超過額または経費控除後の利子・配当等収益のいずれか多い金額とします。分配金額は、委託会社が、設定当初に定める目標分配額を参考に、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、収益分配を行わないことがあります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	14.5	65.0	65.7	47.4	4.5	34.9	43.7
最小値	△ 0.3	△ 17.0	△ 13.6	△ 22.8	0.4	△ 7.5	△ 15.0
平均値	2.4	16.6	20.5	8.4	2.3	10.3	6.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2011年2月から2016年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、2012年2月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2016年2月15日現在)

○組入上位10銘柄

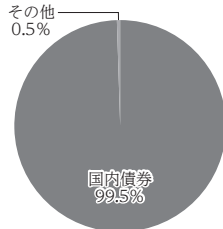
	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率
1	BARCLAYS BANK PLC 20180209	普通社債券	円	イギリス	99.5%
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数			1銘柄		

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

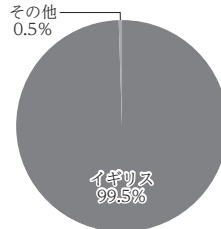
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

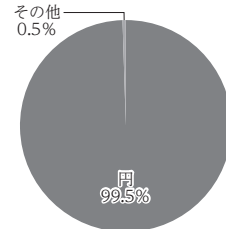
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

項目	第5期末
	2016年2月15日
純資産総額	529,930,566円
受益権総口数	515,000,000口
1万口当たり基準価額	10,290円

(注) 期中における解約元本額は0円です。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、シティ世界国債インデックスに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。